

小金丸 泰仙 先生 講演会  
「こころの構造」

1. 小金丸先生はこの講演会でどのようなことをおっしゃっていましたか。

死ぬまで"心"を育てる。個性を受け入れる。自分の生き方次第で"心"は変わる。  
"心"を観察して自分の中にあるものを素直に追求してあげるもいいと思う。意識  
していかない中でも、つい自分のことを考えるのはあたり前である。"悩"みはいいが  
弊があるが、"悩"みは自分の何なのかと1度考えてみる。

2. この講演会を通して感じたことは何ですか？

私も"悩"みごとをすることが"明"いのか、今日の話を聞いて、"悩"みの解決  
に717 そんな考え方もあるのか、と驚きました。「何故この悩みのたぐう」と考える  
よりも、「今悩んでいることは自分にとってどんなものだろう」と考えた方が、寧ろおま  
りあるような感じがしました。

3. そう感じたあなたは、どのような考えや気持ちを大切にしているのだと思  
いますか？

いいことも悪いことも全部人生の経験として受け取ることで、"心"はず、と  
育つ、ていいんだ」という考えを大切にしていると思われました。先生の話の中にあった  
「経験が自分を作る」とはこういうことだがと感"ん"じました。それを死ぬまで  
育てていかなが"私"もいいと思えます。

4. この講演会から学んだこと、今後生かせることは何ですか。

今回の講演会を、1つ1つの"心"が経験を大切にしていこうと思えました。  
"心"が考え、疑問、"悩"み自分が育てると考えると、前向きにたどる気が  
します。アラヤ識にたぐさんの経験をためながら、何事にも前向きに生き  
ていきたいと思えました。